

国家戦略特区 加賀市の挑戦

加賀市は「デジタル田園健康特区」

加賀市は全国に先駆けてデジタル技術を活用した課題解決に取り組み、市民の皆さんが「**便利で、健康的で、新しい挑戦ができる**」持続可能な未来都市の実現を目指しています。

情報銀行

全国措置化

「情報信託機能の認定に係る指針」の改定が加賀市の提案により実現（R5.7）
（情報銀行で健康医療情報の取扱いが可能に）

健康・医療・介護の情報を本人同意のもとで活用し、個別最適な支援やフレイル予防を推進し、健康寿命の延伸を目指す仕組みを構築します。

<今後のビジョン>

健康・医療・介護の情報を本人の同意を得て収集し、医療データと健康データを連携させることで、市民一人ひとりの健康増進に役立てることを目指す。



ライドシェア



市民ドライバーによる加賀市版ライドシェアの運行を行い、公共交通が手薄な地域の課題解決と利便性向上、地域活性化に資する移動手段を提供。

<今後のビジョン>

デジタル技術と地域資源を最大限に活用し、市民一人ひとりの豊かな生活と、持続可能な未来の加賀市を創造する。

e-加賀市民

e-加賀市民証(NFT)

オリジナル獅子頭デザイン



加賀市を応援する方を「関係人口」として認定するNFTを発行。参加を通じて文化発信と交流を促し、新たな地域関係の構築を推進します。

<今後のビジョン>

デジタルでつながる市民体験を提供し、地域経済を活性化。関係人口を拡大し、誰もが加賀市の一員と感じられる未来を目指す。

近未来技術実証ワンストップセンター

特例措置の活用

「自動運転や小型無人機等の実証実験を促進するための近未来技術実証に関するワンストップセンター」を設置 (R6.10)

自動運転やドローンなど先端技術の実証を支援。手続き相談からフィールド紹介、調整まで一貫支援し、様々な分野における近未来技術の早期実装の促進。

<今後のビジョン>

先端技術の活用で社会課題を解決し、地域経済の核となり、イノベーションを牽引する。

自動運転



レベル4対応車による公道

ドローン



医薬品輸送の実証(R3.5)

AI・IoT



スマート農業(H29.4~R2.3)実証(R6.4)

開業ワンストップセンター

特例措置の活用

「外国人を含めた起業・開業促進のための各種申請ワンストップセンター」を設置 (R5.10)

起業を全面的にサポートする窓口。会社設立に必要な複数の行政手続きをオンラインで一元的に申請できるようにすることで、起業家の負担を大幅に軽減。

<今後のビジョン>

迅速な創業支援で先端技術企業の誘致と新産業創出を加速。雇用も生み出し、加賀市をイノベーション拠点へと発展させる。

